



まちかど インタビュー

Vol.44
神戸市民館まつりで感動的な歌
声と手話を披露された皆さん

—皆さんの活動への思いは。

柳田はるかさん

16歳の時、網膜色素変性症という難病と診断され、20代でほとんど目が見えなくなると、日常生活も困難になりました。そんな中で、できないことが増えるなら、できることを増やしたい、視覚障害者のことを知ってもらうことで理解を深め、視覚障害者の人が住みやすく、生活しやすい社会につなげていきたいという思いで活動しています。

音楽活動は、8年前になんとなく始めたギターがきっかけです。いつも何をやるにも、やっぱり誰かのお世話になってしまうことが多い中で、音楽は見える見えなないに関係なく、一緒に楽しめるというのがすごく嬉しかったです。目が見えなくなると、私はもう誰の力になることもできない、助けてもらうだけの人生なんだと思っていました。そんな私が福祉施設で歌を歌った時、心からのありがとうを言ってもらい、私にもできることがあるんだと涙が溢れました。見えないからこそ、音楽の力で障害の壁を越え、音楽に乗せて私の思いをたくさんの人に届けていきたいです。

またがわあき
又川明希さん

聴覚障害は、一見障害があると気付いてもらえず、常に孤独を感じています。人の会話の中に入っても話が

分らない。筆談や手話が面倒だからと話をしてもらえない。すぐそこにある楽しい空間に自分だけ交わることができない。笑っているけど悲しい…。笑っているけど寂しい…。そんな思いを感じる事が少しでも減るように、手話を通して手話を身近に感じてもらうように活動しています。

聞こえない人は、意外と皆さんの近くにいます。日常のさまざまな場面や災害時、聞こえない人にどのように接したらよいかを知ってもらえたら嬉しいです。

神戸小学校教諭 青山篤史さん

誰でも楽しめる音楽を届けたいという二人の思いに共感し、一緒に歌い始めました。私自身、昔から歌える先生を夢見てきたので、音楽活動を通して、子どもたちに夢を追い続ける大人の姿を見せたいなと思っています。自分も夢に向かって頑張りたいという子が一人でも増えたら嬉しいです。



(聞き手小川金一) 令和6年12月取材



発行/愛知県田原市議会編集/ 広報広聴委員会 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 ☎ 0531-23-3533 FAX 0531-22-5952

☞ <https://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/> ✉ gikai@city.tahara.aichi.jp



社会福祉法人 福寿園

【法人本部】田原市六連町神ノ釜 9-3 Tel 27-0008

愛と感謝と奉仕

- 養護盲老人ホーム 福寿園
- 特別養護老人ホーム 田原福寿園
- 地域密着型複合福祉施設 田原ゆの里
- ケアハウス パシフィック
- 特別養護老人ホーム 渥美福寿園
- 地域密着型複合福祉施設 花の里



田原福祉グローバル専門学校



募集

パートさん
しその葉の摘み取り作業

内職さん
しその葉の結束・パック詰め



(応募) まずはお気軽にお電話ください。

TEL 0531-37-0447

(有)前田園芸 田原市江比間町二字郷中45
自宅: TEL0531-37-0447

※財源確保のため、有料広告として掲載しています。広告については、田原市議会が推奨するものではありません。